

Club Andino

先住民言語を通して
南米アンデスの文化を学ぶ

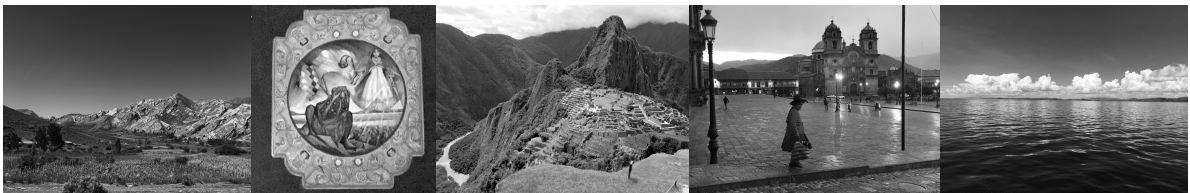
クラブ・アンディーノ

先住民言語（ケチュア語・アイマラ語）が織りなす
豊かな世界を覗いてみませんか？

クラブ・アンディーノはPARC自由学校で2015年と2016年に開催されたアイマラ語講座の講師と受講生による勉強会です。アイマラ語とはボリビア、ペルーでスペイン語とともに公用語の一つとして使われている言語で、約200万人の話者がいます。PARCの講座ではこの言葉の初歩を学ぶことと並行して、アイマラの人々に伝わる口承文芸や文化、また主にボリビアにおける先住民の被支配の歴史と現代における復権運動などに触れてきました。

講座終了後に立ち上げられたこの勉強会では、引き続きアンデス文化への理解を深めるべく、別の先住民言語であるケチュア語の世界に入っていきます。2017年度は、スペイン植民地時代に先住民の信仰や習慣について、ケチュア語で記された「ワロチリ文書」を読み解くためのケチュア語入門書を読みます。原著はスペイン語ですが、日本語への翻訳を用意します。

ケチュア語、アイマラ語って何？ という初学者の方も大歓迎。奥深いアンデスの世界についてぜひ一緒に学びましょう！



日時：月一回不定期（基本的に金曜日 19:00～21:00）

場所：アジア太平洋資料センター（PARC）

東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル

最寄駅：淡路町〈丸ノ内線〉 小川町〈都営新宿線〉 新御茶ノ水〈千代田線〉 御茶ノ水〈JR〉

アクセス方法は右を参照：http://www.parc-jp.org/guidance/guidance_04.html

参加費：一回 ¥1,000

お申し込み・お問い合わせ先：clubandino2017@gmail.com

参加ご希望の方は事前にこちらのアドレスにメールをください

初回勉強会：2017年4月21日（金）19:00～21:00

アイマラ語講座受講生の声

「日本語や西洋言語とはまったく違うことば。異なる発想で世界を捉えている人々の言語に触れられて新鮮でした」

「馴染みのない言語へのチャレンジで難しい部分もありましたが、スペイン語からの影響や日本語と相通じるところがあるなど、大変興味深かったです」

「現地で調査を続けて来られた先生から、ボリビア・ペルーについての生の情報を得られたのが貴重でした」

「先住民の文化や生活、歴史など、アンデスの人々について幅広く学ぶことができ満足です」

講師：藤田 護

（慶應義塾大学 環境情報学部 専任講師）

ラテンアメリカ研究、特にアンデス地域を中心とした先住民の言語人類学、政治・社会、及び開発の問題を専門とする。『ラテンアメリカを知る事典（第2版）』（平凡社、2013）、『ボリビアを知るための73章（第2版）』（明石書店、2013）にて、「アイマラ語」の項目を執筆。アイヌ語とアイヌ語口承文学、及び日本語の文学にも関心をもっている。

講師から一言 —— PARCでは、アンデス高地の先住民言語であるケチュア語とアイマラ語の講座が成立してきました。言語だけでなく、言語が併せもっている文化の多様な世界を、ぜひ一緒に楽しみたいと思います。